

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675100111
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈重留1137番地 (電話) 0995-24-1688
自己評価作成日	平成29年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

それぞれ出来る事を利用者が決めながら、スタッフは一緒に行いながらサポートする形で支援し、四季折々の行事を取り入れながら、楽しみのある笑いの絶えない生活を送れるように心がけている。
 増床によって3名の利用者が増えたが、6名のときと変わらない様に十分に細かな配慮をしながら生活を送っている。
 健康管理も早目の気づきを大切にしながら、悪化しない様に心がけている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URI	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年4月14日

- ・当事業所は自治会に加入し、夏祭りや駅伝大会の応援など地域行事に積極的に参加している。事業所行事の敬老会や花見などに地域住民の参加がある。地域の防災組織が設置され協力体制もできている。高校生の実習の受け入れや近隣の人々からの野菜の差し入れなどがあり、日常的に交流している。
- ・地域の防災組織に「ひだまり班」が設置され、自治会管理の「グリップコール（握るだけでコールが届く）」で不審者防止対策も検討されるなど協力態勢が整っている。
- ・家族とのコミュニケーションを大切にして、毎月の「ひだまり通信」に同封して「今日のお父さん、お母さん」として毎日一行ずつ記入したものを送付している。また、職員看護師の健康管理で早めの気づきも大切にしている。
- ・代表者や管理者は職員の意見や提案を積極的に取り入れている。日よけを設置したり、一人テントを整え、利用者が楽しくその人らしい生活ができるように支援している。職員は勤務年数も長く離職者も少ない。利用者や家族からの信頼が厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフがそれぞれ振り返り、声かけをしながら取り組むようにしている。	全職員で作り上げた理念で、事業所内に掲示している。週1回施設長を含めて全員で唱和している。毎年具体的な目標も作成している。朝礼や夕方の申送り時に振り返り、理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の防災訓練では、地域から施設班が来るなど協力体制にある。近隣の方々からも野菜のやり取りなどもあり、常に気をかけてもらっている。	自治会に加入し、夏祭りや駅伝大会の応援など地域行事に積極的に参加している。事業所行事の敬老会や花見などに地域住民の参加がある。地域の防災組織が設置され協力体制もできている。高校生の実習の受け入れや近隣の人々からの野菜の差し入れなどがあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	知人の面会時や散歩のときなどの会話を通じて、認知症への理解をしてもらえるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>日々の事例や困っていることを出して意見や助言をもらい、解決のヒントにしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況報告や行事報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価報告などを行って、参加者から意見や課題などを聞き話し合いをしている。そこでの質問で、体調を崩した際の対応についてや介護保険制度の改正についての説明なども行い、悪徳商法に対する事例などの資料を基に研修も取り入れた。認知症についての講師依頼があり地域に出向く事もある。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域密着型連絡会に参加するなどし、市町村と連携が取れるようにし、運営推進会議へも参加してもらい協力いただいている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めている。運営推進会議に市担当者の出席を得て、情報をもったりしている。市主催の研修会にも積極的に参加して協力関係ができている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に行わないようになっており、日々の振り返りや早期発見が出来るように取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って事例や課題に基づいた勉強会を行い職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。玄関の施錠は昼間は開放し、職員の見守りや散歩に切り替えて穏やかになるまで付き添っている。地域の見守り支援もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々申し合わせや確認をしながら、絶対行わない事で取り組んでいる。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	該当者が無く、触れる機会はないが、必要なときは柔軟な対応をしていく。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に契約を交わす際、十分な説明を行い、不明な点はないか確認しながら、話し合いをしている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会などを利用して意見を聞けるように心がけている。1回目の家族会を実施した。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や家族会・電話・運営推進会議などが意見を聞く良い機会となっている。家族会は事業所の花見や夏祭りの前に開催している。毎月「ひだまり通信」と「今日のお父さん・お母さん」で近況報告を行い、返信もある。利用者の習慣や情報を職員で話し合い、朝食時にパン食や夕食時にノンアルコールを取り入れるなど、楽しみに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全員参加の職員会や日常の業務の中で、職員の小さな意見も聞き検討している。</p>	<p>管理者は申し送り時や毎月のミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。提案により、外気浴を楽しめるように日よけを設置したり、一人用テントを購入し、外出の際の着替えや排泄に広く活用している。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>無駄な残業をなくし、適正な労働時間の体制、給与の見直しを行い、特に努力している職員に対してそれらを実施できている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の研修参加の機会は多くはないが、29年度も実践者研修などへの参加を計画している。また資格取得希望者への支援にも力を入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡協議会に参加し、他事業所や保険者との意見交換や研修などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初期には職員の気づきや十分にコミュニケーションを取り、落ち着いて生活ができるよう心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>希望が伝えやすいように努め、家族との関係が築けるように心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>十分に話し合いを行い、希望や意見を聞き、生活環境も踏まえながら検討するように心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者が皆で話し合い決定することを大切にし、職員は実現できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来やすいように時間を決めておらず、交流が持ちやすい環境を提供しながら、今までの関係を続けられるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望を聞きながらそれぞれ柔軟に対応し、美容室や買い物など常に実施し、支援している。	利用者の個々の希望で、馴染みの店で買い物や墓参・理美容院利用などの支援をしている。親戚や知人の面会を奨励している。面会にきて部屋でお茶を飲みながら談笑してもらい、継続的關係が途切れないよう働きかけている。手紙のやり取りや電話の取次ぎ・携帯電話なども支援している。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間で話し合ったり助け合いながら生活をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院になっても毎日顔を出すようにし、必要に応じて相談などにも対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意見を伝えやすい様に関係を築き、利用者本位で暮らせるように心がけている。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。入浴のリラックスした時や夜間眠れなく遅くまで起きている時・食事がすんで落ち着いた時等に利用者の思いを聞いている。困難な場合は「気づきノート」や家族・関係者からも情報を得て、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との会話などから把握するように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動などそれぞれの状態、状況に応じて見極めながら支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の中で本人の希望などを聞き取りミーティングなどで意見交換を行い検討し、介護計画に役立てるように努めている。	本人や家族の意向を確認し、受診や往診での医師の意見を取り入れ、担当者会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、必要時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日細かな変化や様子を記録、申し送りを行い、介護計画に役立てている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>それぞれの希望に対して、可能な限り対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会へも参加しており、色々な協力体制を頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>それぞれ入所前からのかかりつけ医を継続している。希望や必要に応じては専門医への紹介を受けるなどして支援を行っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の継続支援を行っている。医療機関から毎日往診に来て貰ったり、歯科からの往診もあり口腔ケアに力を入れている。定期受診は事業所に対応し、必要時は家族も同行している。ホームの看護師による健康管理や訪問看護との連携を図っている。緊急時の医療連携体制が整っている。受診結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護を週に1回受け、意見やアドバイスをもらい協力を頂いている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時に情報提供書を提出し、特に気をつけて頂きたい事を細かに伝え、毎日面会を行い環境の変化による混乱を少なくするよう努め、早めの退院へ協力を頂いている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	段階に応じて話す機会を作り、確認しながら方向性を協議している。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は「看取り介護における方針」を説明し確認を貰い、主治医や家族・職員の連携で取り組んでいる。看取りの事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングなどで学ぶ機会を作り、マニュアルなどを作成し活用するよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人内での避難訓練を行っており、地域主催での防災訓練に参加しており、協力体制を築いている。</p>	<p>災害訓練を年2回行っている。1回は消防署立会いのもと夜間想定避難訓練を実施している。1回は自主で災害報告等の点検や通報の方法などの確認をしている。地域主催の防火訓練にも参加し、近隣住民やコンビニエンスストアなどとの協力体制もできている。スプリンクラーや自動火災報知機・火災通報装置を設置し非常時に備えて、個人情報なども整備し冷蔵庫に保管している。災害時の水や米・味噌・乾パン・炊き出し用食料品の備蓄があり、賞味期限を確認している。カセットコンロなどの備品もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	職員間で振り返りをし、必ず意志の確認を行いながら支援するようにしている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。職員同士で言葉かけや対応等を気軽に検討し合える雰囲気作りに努めている。権利擁護委員会があり事例を出して振り返りや確認をしている。馴れ合いにならないようにしている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	必ず確認し、了承をもらいながら支援している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	それぞれその人らしい生活を実現できるように支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	それぞれ自分で決め、その人らしい身だしなみを妨げないように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎回ではないが、それぞれの出来る事を協力し、楽しみながら行えるメニューを検討し、実施するようにしている。	旬の食材で嗜好に配慮し、個々に応じた食事形態を工夫している。誕生日には希望食を作り、季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。職員と一緒に筍などの皮むきや配膳・下膳などを行い、味噌や梅干し・らっきょ漬け・ちまきなどの保存食作りも楽しく作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を確保出来る様に把握、記録、検討し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれに応じた支援を実行している。歯科治療は往診にて協力を頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの能力や季節に応じた支援を検討し、実行している。	排泄のリズムを把握し、必要に応じて声かけし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間にはポータブルトイレやリハビリパンツ等を利用するなど個々に応じて対応している。排泄がスムーズに行くように芋類や繊維物など食品にも工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	確実に排泄状況の把握を申し送りをし、下剤の調整などで要望に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現状では定期的な入浴を実施しているが、本人の希望やその日の体調に合わせた入浴の実施などで、いつでも入浴できる体制ができている。	一人ひとりの体調や希望に合わせて、いつでも入浴できるよう柔軟に対応している。ゆず湯や入浴剤も使用して、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には時間調整など職員間で連携して状況改善に努めている。衣類の着脱時や入浴中にコミュニケーションを積極的に行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室だけでなく、ソファやそれぞれのくつろげる場所などで休むことができるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師から十分に説明を受け、変更時など職員が周知できるように申し送りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ一人ひとりの趣味や能力を活かしながら、楽しみながらやり遂げられる作業を行えるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望を聞きながら屋外の散歩や買い物、馴染みの美容室など、柔軟に対応できるように支援している。	日常的には周辺の散歩やドライブに出かけている。希望で買い物や理美容院利用などの個別支援もしている。計画を立てて、月1回は弁当を作って季節ごとの花見や地域行事への参加・駅伝大会の応援・初詣・ソーメン流し・遠足などに出かけている。家族にも案内状を出している。家族の協力で外出や外食・理美容院利用・墓参の際にも支援している。車椅子対応車もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で持っている方については家族と相談した上で、本人が管理してもらっている。大半の方は、家族管理となっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	外線電話での会話や手紙のやり取り、携帯電話を持っていたりなど、自由に行えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その時々で、ソファの位置を変えたり、冬季はコタツを出すなど季節を感じられるように努め、家庭に近い環境作りを心がけている。	共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮しエアコンや加湿器、濡れたタオルを下げる等、室内環境作りをしている。対面キッチンで利用者も会話しながら一緒に手伝っている。冬季は車椅子対応のコタツを囲んでいる。ソファもあり、ゆっくりくつろぐ場所で、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日常生活の中で自然と居場所が定着しており、思い思いにくつろいで過ごせるように常に支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれるなどして、本人の思うように暮らせるように支援している。	居室はエアコンやベッド・洗面台・タンスが備え付けである。寝具や家具・位牌・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。利用者や家族と話し合いながら季節物の衣替えなどもしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札での誘導や動線上の安全確保をして、安全に生活ができるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない